

シンポジウム

「流域から都市・地域環境の再生を考える」

人口減少・少子高齢化、過疎、都市の衰退、農林業の衰退、食料問題（食の安全・食料自給率）等の日本が抱える問題、地球温暖化、生物多様性等のグローバルな問題を解決する糸口として、「流域圏の視点」がますます重要になってくると考えられます。そこで、幅広い視野と多様な主体の参画による新たな流域圏での取り組みについて皆さんといっしょに考え、行動に移していくきっかけとなることを目指しシンポジウムを開催します。

本シンポジウムは、「自然環境と共生した都市を再生していくためには流域の視点が重要である」という認識・趣旨に賛同する研究者からなるワークショップ「自然と共生した流域圏・都市の再生」実行委員会による相互の情報交換や様々な分野の方々との取り組み等の実績を踏まえ、新たな流域圏での取り組みにつながることを期待し開催するものです。ご来場をお待ちしております。

日時：平成22年12月7日（火）13時～

場所：科学技術館サイエンスホール

（千代田区北の丸公園2-1）

参加費：無料（事前申し込みが必要です：裏面参照）



東西線・半蔵門線・都営新宿線「九段下駅」（2番出口）徒歩7分
東西線「竹橋駅」（1b出口）徒歩7分

主催：

ワークショップ「自然と共生した流域圏・都市の再生」実行委員会

このシンポジウムは（財）河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受けています。



本シンポジウムは、土木学会継続教育（CPD）制度のプログラムとして認定されています（4単位）

プログラム

1. 開会 (13:00)
2. 主催者あいさつ (13:05~13:15)
ワークショップ「自然と共生した流域圏・都市の再生実行委員会」委員長 丹保 憲仁 氏
3. 基調講演 (13:15~14:15)
「現代人と流域思考について」
東京大学 名誉教授 養老 孟司 氏
4. 流域圏での実践的な取り組み事例 (14:15~15:15)
「統合的湖沼流域管理 (ILBM) からみた琵琶湖・淀川水系」
滋賀大学 環境総合研究センター 特任教授 中村 正久 氏
~~~~~ 休憩 (15:15~15:30) ~~~~~
5. パネルディスカッション (15:30~17:15)  
テーマ「流域から都市・地域環境の再生を考える」  
コーディネーター  
竹村 公太郎 氏 ((財)リバーフロント整備センター理事長)  
パネリスト  
岸 由二 氏 (慶應義塾大学教授)  
崎田 裕子 氏 (ジャーナリスト、環境カウンセラー)  
砂田 憲吾 氏 (山梨大学大学院教授)  
清野 聡子 氏 (九州大学大学院准教授) 【五十音順】
6. 閉会 (17:15)

## 申し込み方法

申込方法： お名前、ご連絡先、職場・会社名をご記入のうえ、メール又はFAXにて下記まで申込みください。  
申込み先着順。定員(400名)になり次第、締め切らせていただきます。

申込み先：ワークショップ「自然と共生した流域圏・都市の再生」実行委員会  
事務局：(財)リバーフロント整備センター 大関、伊藤 宛  
TEL 03-6228-3860  
FAX 03-3523-0640  
メール ryuikiken@rfc.or.jp

| シンポジウム「流域から都市・地域環境の再生を考える」参加申込書 |      |
|---------------------------------|------|
| (ふりがな)<br>お名前                   |      |
| ご連絡先                            | 住所:  |
|                                 | TEL: |
|                                 | メール: |
| 職場・会社名                          |      |

申込のためにお知らせいただいた個人情報は、本シンポジウムの連絡以外には使用いたしません。